

# 特別会計 事業会計 予算

特別会計・事業会計の予算をお知らせします。ガス・水道の事業会計は、4月1日から料金、工事費等にかかる消費税を含んだ予算です。

## 各会計の予算 ( ) は前年度比

■国民健康保険特別会計	9億8099万6千円 (±0)
■老人保健特別会計	11億6842万6千円(+23.6%)
■水道事業会計(支出)	5億3936万9千円(-1.8%)
■ガス事業会計(支出)	7億7842万3千円(+10.3%)

今年も療養給付をはじめ各種の給付、人間ドックの助成、国の補助事業としてはじめたコンピュータドック、健康づくり事業の推進などを行います。

本年度は大きな制度的改定はありませんが、医療技術の進歩、医療施設の進出、消費税に伴う薬価基準の改定などにより、依然として厳しい状況にあります。

### 国民健康保険

依然として  
厳しい状況

歳入歳出とも11億6842万6千円、前年度比23.5%の増。財源は支払基金交付金8億1280万2千円、国庫支出金2億3139万2千円、県支出金5781万6千円、一般会計繰入金6641万円。歳出のほとんどは医療費で11億5969万6千円(歳出総額の99.3%)。老人一人当たりの医療費が、県下最高という状態であり、一般会計・国保会計の負担が増えています。今後ますます対象となる老人が増加すると考えられますので、国の医療費適正化推進事業を充実してレセプトの点検整備指導と老人の健康教育などに努力します。

### 老人保健

前年度比で23.5%の増

資本的収入は工事負担金として151万円、同支出は1億3215万8千円を計上し、不足分の1億3064万8千円は損益勘定留保資金などで補填します。

なお、国に納める消費税は89万1千円と見込みました。

### 水道事業

施設の  
維持管理に重点

主な建設事業は老朽化したエタニットパイプの取替え工事、需要量に応じた本管の増径工事を実施します。また、浄水場排泥池の整備も昨年度に引き続き実施します。

収益的収入(水道料金など)は4億5239万7千円(前年度比8.93%増)、同支出は4億721万1千円。

資本的収入は3021万円、そのうち3000万円は企業債です。同支出は9692万3千円で、そのうち3284万5千円が企業債の償還に使われます。資本的収入が同支出に対し不足する6671万3千円は損益勘定留保資金で補填します。国に納める消費税は532万6千円と見込みました。

### ガス事業

他燃料との競合で  
厳しい運営

円高傾向が続き、原油低落の現状から、電気、石油プロパンなどの他燃料との競合で厳しい運営を迫られています。経常的な経費を極力抑制した予算編成です。

供給戸数は6687戸(前年度より219戸増)年間ガス供給量は798万1582立方メートル(前年度比13.1%増)と見込んでいます。

主な事業は、事故防止対策に安全アダプター装着、導管ガス洩れ調査、ガス消費機器調査、ガスホルダー開放検査、メーター取替修理など。また老朽化した本支管の布設替、新設も実施します。

収益的収入(ガス料金など)は6億9541万9千円、同支出は6億8150万円を計上しました。

資本的収入は3021万円、そのうち3000万円は企業債です。同支出は9692万3千円で、そのうち3284万5千円が企業債の償還に使われます。資本的収入が同支出に対し不足する6671万3千円は損益勘定留保資金で補填します。国に納める消費税は532万6千円と見込みました。

## ふるさと創生1億円は 基金積立に

諸支出金 1億1381万1千円

主に将来に備えての積立金。  
・ふるさと創生事業基金積立金8000万円(2000万円は昭和63年度で積み立て)  
・財政調整基金積立金(利子分) 1732万円

議会費 8345万5千円

(+604万7千円)  
・議員報酬(26人分) 4986万円  
・議員期末手当 1578万9千円  
・共済費 495万9千円  
・研修などの旅費 416万円  
・議長交際費 51万5千円  
・会議録調整委託料 235万9千円

労働費 114万3千円

・失対労働者補助金 114万3千円

公債費 4億3555万1千円

(+377万円)  
町の借金である町債(昭和63年度末で総額32億円ほど)の返済。  
・町債償還金(84件分) 2億2478万3千円  
・町債償還金(99件分) 2億766万8千円

消防費 4356万6千円

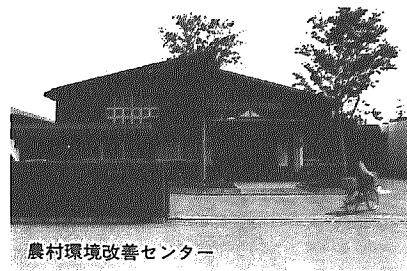
(+655万3千円)  
・消防施設の維持管理など 1069万1千円  
・消防団員報酬(255人分) 494万7千円  
・消防施設費 834万8千円

災害復旧費 50万円

(±0)

予備費 1000万円

(±0)



農村環境改善センター

## 生産性の高い農業振興 を推進

農林水産業費 2億7106万5千円

(+1286万1千円)  
3年目を迎える水田農業確立対策は、転作田に都市近郊型農業と産地特産型農業を合わせた、生産性の高い農業振興を積極的に推進します。特に産地指定を受けている黒埼茶豆・ブロッコリ・スイートコーン・花き球根などの品質向上と産地拡大に努めます。また町の単独事業として黒埼町水田農業確立条件整備事業を取組みます。水稲の共同防除は安全で効果的な対策を図ります。農村環境整備は農村総合整備モデル事業を中心に生活環境と生産基盤の整備促進を図ります。

・農業委員会費 1182万5千円(農業委員報酬 23人分 840万円)  
・農業振興費 2092万1千円  
〔町農業振興協議会補助金 580万円〕  
〔板井一番組集落センター補助金 576万円〕  
・水田農業確立対策費 1345万3千円(転作奨励補助金 900万円)  
・農村総合整備事業費 1億3037万7千円  
〔農村総合整備モデル工事費 8332万7千円〕  
・農村環境改善センター管理費 789万1千円  
・農地費 8249万2千円  
〔広域農道事業負担金 1007万9千円〕  
〔広域関連農道事業負担金 1168万7千円〕  
〔農免農道事業負担金 1086万8千円〕  
〔地盤沈下対策事業負担金 1244万7千円〕  
〔西蒲土地改良区排水費負担金 1093万8千円〕

## 道路に4億6千万円 都市下水に 1億8千万円

土木費 7億4327万5千円

(+6186万8千円)

道路整備では、町道鳥原寺地線、山田立仏二号線の2路線を国庫補助を受けて実施するほか、生活にかかわる道路の改良・舗装を町の単独事業で計画的に実施します。

都市下水路事業は、大野二号幹線、前川原幹線の下水路築造工事を引き続き実施するなど、整備を図っていきます。

区画整理事業については、的場・緒立土地区画整理組合が昨年十一月に認可となり十二月に正式に発足しました。平成元年度と二年がピークとなるので、引き続き補助していきます。

- ・道路・橋の維持管理、除雪など 4701万7千円
- ・道路・橋の新設改良 4億5886万6千円
- 〔町道改良舗装工事費 1億5656万円〕
- 〔町道拡幅用地買収費 2億4701万円〕
- 〔新幹線側道用地買収費 2139万8千円〕
- 〔県道改良工事負担金 500万円〕
- 〔私道整備費助成金 400万円〕
- ・緒立土地区画整理事業補助金 3473万1千円
- ・都市下水路費 1億7904万2千円
- 〔都市下水路工事費 1億3390万円〕
- 〔都市排水路改修工事費 2935万5千円〕
- ・前川原ポンプ場管理費 1730万8千円
- ・公園事業費 23万2千円



前川原ポンプ場